

第25章 南東部地域の概況

I. 南東部地域の概要と経済動向

I-1. 南東部地域の概要

図表 25-1 南東部地域に属する州

地域名	属する州名
南東部	ミナスジェライス州、エスピリト・サント州、リオデジャネイロ州、サンパウロ州

ブラジル南東部はブラジル経済の中心地である。4州の面積を合計してもブラジル全土の11%足らずを占めるに過ぎないが、全人口の42%に当たる約8,000万人がこの地域に居住し、ブラジルGDPの56%を生み出している。

時間帯はUTC-3であり、日本と12時間遅れであるが、4州とも夏時間の制度を有しており、夏時間採用期間中は日本との時差が11時間遅れ(UTC-2)となる。

I-2. 経済動向

北東部の大都市のほとんどが海洋に面していたのに対し、南東部では内陸部にも大都市が広がっている。こうした大都市は鉱工業の集積拠点になっているのみならず、都市の後背地では消費市場への近接性や流通の利便性を生かした農業も盛んに行われている。たとえばサンパウロ州におけるオレンジの生産量は、ブラジル全体の9割を占めている。

I-3. 事業環境

都市としての機能が発達し、交通インフラの整備も比較的進んでいる南東部は、ブラジルに進出を検討する外国企業が最初にターゲットとするエリアであろう。近年南東部の沖合で相次いで発見された油田の開発や、リオデジャネイロ～カンピーナス間的高速鉄道、2016年に控えたリオデジャネイロオリンピックなど、今後のビジネスチャンスを占う上で重視すべきトピックには事欠かない。